

# 須田 国太郎の 芸術

碧南市制75周年記念事業  
開館15周年記念  
生誕130年  
没後60年を越えて

三つの  
まなざし  
絵画・スペイン・能狂言

2023  
10.28<sup>土</sup>—12.17<sup>日</sup>

Art of Suda Kunitarō –Three Gazes–  
Beyond the 130th Birth Anniversary and the 60th Death Anniversary

休館日 | 月曜日

開館時間 | 10:00–17:00(入場は16:30まで)

観覧料 | 一般900円(720円)、高大生600円(480円)、

小中学生400円(320円)

※( )内は20名以上の団体料金 ※未就学児童、市内在住・在学の小中学生・高校生、  
市内在住の65歳以上の方、各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名は無料。  
受付に証明証をご提示ください。

《11月24日(金)はあいちウィーク期間中の「県民の日学校ホリデー」のため、観覧無料。》

主催 | 碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会

共催 | 中日新聞社、公益財団法人きょうと視覚文化振興財団

《編》京都国立近代美術館蔵 1952年 油彩・画布

碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART





1.《サグント》(写真) 三之瀬御本陣芸術文化館蔵、2.《サグント劇場跡》 三之瀬御本陣芸術文化館蔵 1922年～23年、3.《椿》 姫路市立美術館蔵 1932年、4.《山姥》 京都国立近代美術館蔵 1948年、5.《犬》 東京国立近代美術館蔵 1950年、6.《八幡平》 京都市美術館蔵 1954年、7.《窪八幡》 東京国立近代美術館蔵 1955年



2



3



4



5



6



7

洋画家の須田国太郎(1891～1961)は「東西の絵画の総合」という壮大なテーマを掲げ、日本の精神文化に根差した日本独自の油彩画のありかたを追求し、近代絵画史に偉大な足跡を遺しました。

京都に生まれ、幼少時代から絵画に親しんだ須田は「東洋と西洋では、なぜ絵画が異なる方向で発展を遂げたのか?」という疑問を解明するために、京都帝国大学及び同大学院で美学・美術史を学びました。大学院に在籍中には「絵画の理論と技巧」を研究テーマとし、同時に関西美術院において、デッサンを学んでいます。

1919年に28歳で渡欧し、スペインのマドリッドを拠点にヨーロッパ各地を訪れ、ヴェネツィア派の色彩理論やバロック絵画の明暗法など西洋絵画の底流をなすリアリズムの表現に関心をもち、探求しました。1923年に帰国して、日本独自の油彩画を生み出そうと制作に励み、1932年41歳の時に初個展を開催しました。これを契機として、ヨーロッパ留学中に交流のあった里見勝蔵や川口軌外の誘いにより、1934年に独立美術協会会員となりました。これ以後須田は、同協会展を中心の舞台とし、意欲作を発表していきます。骨太で生命感溢れる作品群には、会得した理論に裏付けられた風格さえ宿しています。

碧南市制75周年記念事業 開館15周年記念 生誕130年 没後60年を越えて

# 須田国太郎の 芸術 三つのまなざし 絵画・スペイン・能狂言

本展では、第1章として須田国太郎の初期から晩年までの「画家の歩み」を紹介。第2章に「旅でのまなざし」として須田自身が滞欧中に撮影した写真と関連する油絵、さらに国内の風景を描いた作品を紹介。第3章では「幽玄へのまなざし」として幼少時より親しんだ能・狂言の世界を描出した作品を展示。第4章では「真理のまなざし」として須田が造形上の芸術的真理を追求した代表的な「黒の絵画」を核とした絵画作品と、学術的な真理の追求として発表した芸術論の著作を紹介しています。また、須田がデザインに注目して蒐集した「グリコの玩具」や愛用のカメラなどの遺品も併せて展示し、須田国太郎芸術の新たな魅力を検証しています。

## 関連イベント

### 記念講演会①

「須田国太郎の魅力  
—三つのまなざし—」

講師 | 木本文平(当館館長)  
日時 | 11月4日(土)14:00～15:30  
場所 | 美術館 地下1階・多目的室B  
定員 | 60名(先着順) 聴講無料

### 記念講演会②

「須田国太郎の絵画制作と  
学問を語る」

講師 | 中谷伸生氏(〔公財〕きょうと視覚文化  
振興財団理事・関西大学名誉教授)  
日時 | 11月11日(土)14:00～15:30  
場所 | 美術館 地下1階・多目的室B  
定員 | 60名(先着順) 聴講無料

### 記念講演会③

「須田のリアル論」

講師 | 梶岡秀一氏(京都国立近代美術館  
学芸課情報資料室長)  
日時 | 11月18日(土)14:00～15:30  
場所 | 美術館 地下1階・多目的室B  
定員 | 60名(先着順) 聴講無料

### ギャラリートーク(担当学芸員による展示説明会)

日時 | ①11月25日(土) ②12月2日(土)  
③12月16日(土) いずれも14:00から約30分  
予約不要。観覧券をお持ちの上、2階ロビーにお集まりください。

### ミュージアムコンサート

「情熱のスパニッシュ・  
ラテンミュージックライブ」

演奏者 | 栗原武啓(ギター)・森薫里(ヴォーカル)・  
魚住英史(パーカッション)  
日時 | 11月3日(金・祝)14:00～15:00  
場所 | 1階・ロビー 定員 | 50名(先着順) 無料  
協力 | 碧南市芸術文化ホール エリアワングループ

### ワークショップ

「塗る」×「重ねる」

—下地の色の深さを体感しよう—  
須田国太郎をはじめ多くの洋画家は、下地に多彩な色を塗り重ねて作品に深みを与えます。さらに上からたくさんの色を重ねて仕上げていきます。  
日時 | 10月29日(日)  
①10:30～11:45 ②13:30～14:45  
対象 | 一般(中学生以上) 参加費 | 300円  
場所 | 地下1階・創作室 定員 | 各10名(先着順)

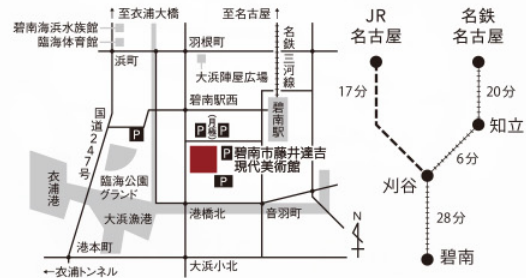
講演会、ミュージアムコンサート、ワークショップともに10月6日(金)10:00より受付を始め、定員になり次第締め切ります。電話にて①氏名②電話番号③参加人数をお知らせください。お申し込みに当たってお知らせいただいた個人情報は受講管理の目的のみに使用します。

### 次回の企画展

「顕神の夢」展  
2024年1月5日(金)～  
2月25日(日)

交通のご案内 | 名鉄本線「知立駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分。JR東海道本線と名鉄をご利用の場合：JR「刈谷駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分。知多半島道路・阿久比インターから車で約20分(衣浦大橋を渡って右折)  
※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

〒447-0847 愛知県碧南市音羽町一丁目1番地  
TEL:0566-48-6602 FAX:0566-48-6603  
E-mail: museum@city.hekinan.lg.jp  
https://www.city.hekinan.lg.jp/museum/



## 碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART

